

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1 単位	実験・実習	平成30年度	後期	2 年次
臨床検査学科	必修					
科目名	免疫検査学実習 Practice of Immunology					
担当教員	◎内堀恵美 畑中徳子					
目的	免疫学的検査の種類や特徴を知り、その基本技術と診断時の有用性を実習を通して理解する。同時に、大学生として問題となる危険ドラッグ・喫煙・飲酒の害についての教育を実習より学ぶ。					
目標	1) 免疫検査学(演習)で学んだ抗原抗体反応の操作法、判定法を習得できる。 2) 基準値から導き出される異常値への対処法が習得できる。 3) 結果解釈が臨床現場でどのように検査運用されているかを実践しながら習得できる。					
他科目との関連	免疫検査学、輸血・移植検査学、輸血・移植検査学(実験・実習)、病因・生体防御検査学特論、感染とその防御、体のしくみと疾病の成り立ちV					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	レポート内容。				0.8
	その他	実習作業時の効率性、実習態度。				0.2
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	新版臨床免疫学(第3版):宮坂信之他著, 講談社サイエンティフィック					
参考資料	免疫検査学実習書:日本臨床検査学教育協議会監修, 医歯薬出版 免疫実験法ハンドブック:中島泉編, 名古屋大学出版会					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	教科書とプリントを中心に実習を行う。					